

ひび卵防止技術開発

採卵鶏の産卵後期には、卵殻質が粗雑になるため、破卵及び規格外卵率が高くなる。そのため農家では強制換羽技術により鶏体の若返りを図り卵殻質の改善に努めてきた。

しかし、近年卵の安全性の向上を図るために GP センター(洗選卵場)に自動ひび卵検知機が導入された結果、ひび卵率が上昇し、経営を圧迫するようになったため、卵殻質を向上させひび卵を減少させる技術の開発が切望されている。

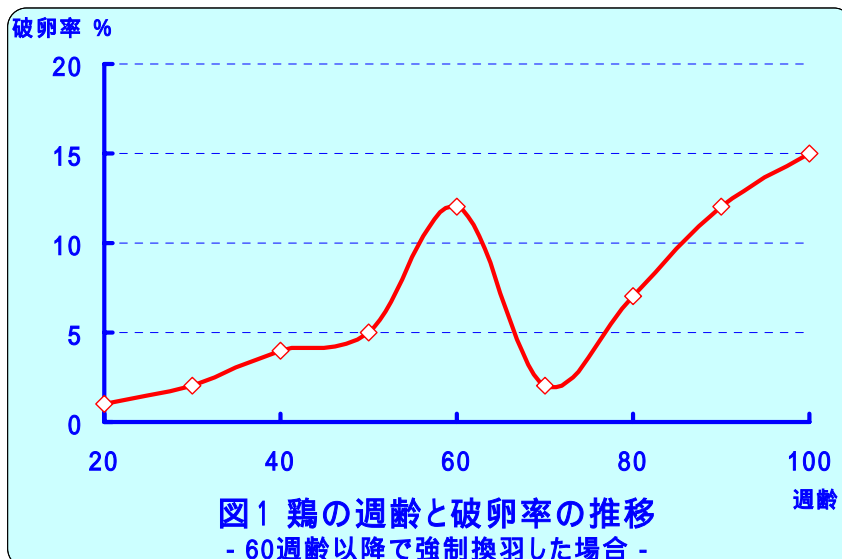
そこで、短期絶食処理技術の効果的な運用によって、卵殻質を改善しひび卵率を減少させる飼養体系について検討している。



卵殻強度の測定



GP センターでの破卵のチェック(手動)



(養鶏試験場・研究員・寺井智子)